

令和3年度第5回理事会議事録

議事録作成者：事務局長 松谷昌典

1 日 時：令和3年10月30日（土） 15：00～17：30

2 場 所：公益社団法人日本パワーリフティング協会 本部事務局
〒678-0239 兵庫県赤穂市加里屋98-16

3 出席者（敬称略、順不同）：

【理事】古城資久、伊差川浩之、三浦重則、高井隆義、藤谷良弘、寺門浩之
關本正志、田中彰子、花田祥之、杉本好二、菅生桃子

※理事総数：13名、本日の出席理事11名

※太田勇吉、実島可斉は都合により欠席

【監事】安原徹

※監事総数：2名、本日の出席監事1名

※辻監事は都合により欠席

【陪席】二宮正晴（技術委員長）、鈴木光（アンチドーピング委員長）

高橋克佳（組織委員長）、松谷昌典（事務局長）

理事の伊差川浩之、三浦重則、高井隆義、藤谷良弘、寺門浩之、關本正志、田中彰子、花田祥之、杉本好二、菅生桃子、監事の安原徹は電話会議システムを利用することによりこの会議に出席し、質疑・決議を行った。

4 開 会

定刻、古城資久会長が理事会運営規程により議長となり、電話会議システムにより出席者の音声の伝達がスムーズであり、質疑応答に支障がないこと、及び定足数を充足していることを確認したうえで、本理事会を開催する旨を述べ、議案の審議に入った。

5 議 長 古城資久

6 議 事

(1) 第1号議案：IPF総会決議内容について

IPFより、ノルウェー国において世界選手権の際に臨時総会を開催する通知がなされた。議案はアメリカ合衆国パワーリフティング協会の除名決議であり、除名決議に賛同するよう求めている。総会資料のほかアメリカ合衆国パワーリフ

ティング協会ホームページの公開情報を抽出し、判断の材料とした。WADA方針に従いIOC加盟を目指すIPFに賛成とする理事は古城、三浦、高井、田中、杉本の5名、ドーピング検査を強化しパワーリフティングをよりクリーンにしようとするアメリカ合衆国を支持する意味合いや、本件で除名すべきではないのではないかと反対票とする花田理事、判断困難で棄権とする理事は、伊差川、藤谷、關本、寺門、菅生の5名であった。賛成票と棄権票は同数であり、本日の理事会で結論を出すことは困難と判断せざるを得ず、選手団出発までに再度アメリカ合衆国とコンタクトを取り、情報量を増加させたいと、判断は常務会に一任することが議場に諮られた。審議の結果、出席理事全員一致で常務会に一任すること承認された。なお、日本代表として総会に出席するのは阿久津氏と福島氏の2名とする。

(2) 第2号議案：国際大会選手団追認及び承認

2021年10月21～10月31日リトアニア、ビリニュスで開催される2021世界ベンチプレス選手権大会日本代表選手団追認及び、2021年11月7日～11月13日ノルウェー、スタヴァンゲルで開催される2021世界パワーリフティング選手権大会日本代表選手団承認について議場に諮られた。審議の結果、出席理事全員一致で日本代表選手団が追認及び承認された。

(3) 第3号議案：JADA令和4年度国内外の大会資料提出について

JADAより、次年度のアンチドーピング検査実施のため、次年度大会実施計画について提出の要請がなされた。次年度のブロック大会を含む大会実施計画を整理した資料が提出され、議場に諮られた。審議の結果、出席理事全員一致で大会計画は承認され、JADAへ提出することとなった。

(4) 第4号議案：広報副委員長が公表したユーチューブ動画について

広報副委員長がインターネット上に公表したユーチューブ動画について、反訳された文書の提出がなされた。大会主管協会を揶揄する内容や、一部加盟協会がルールを守らず大会運営をしていると捉えられる文脈があり、役職者の発信情報として相応しくないことから、当該部位について削除要請を出すこと及び、古城会長から役職者として情報リテラシーに注意するよう厳命することが検討された。審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

(5) 第5号議案：規程類の承認について

(ア) 役員・職員倫理規程

本年6月定時社員総会における定款変更に伴う引用条項番号の齟齬を修正した。審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

(イ) 会員の入会手続き、会費等に関する規程

本年6月定時社員総会における定款変更に伴う準会員廃止、その他文言の調整等を行った。審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

(6) 第6号議案：令和3年度生涯健康指導士養成講習会について

例年講師を依頼している石井直方先生の快諾が得られ、日程調整の結果、令和4年3月27日、「アクリエひめじ」において開催すること及び、健康体力づくり事業財団健康運動指導士更新講習、JATIトレーニング指導者更新講習として申請し、他団体の資格保有者も参加ができるようにすることが議場に諮られた。審議の結果、出席理事全員一致で承認された。なお、本研修会は、日本スポーツ振興センターくじ助成を受けて実施されるものである。

(7) 第7号議案：令和3年度ガバナンス向上研修会について

日本スポーツ振興センターくじ助成を受けて行うガバナンス向上研修会について、本年はユーチューブやツイッター、フェイスブックに関する問題が頻出しており、情報リテラシーの向上が急務である。議場に諮ったところ、役職員や加盟団体代表者出席を必須とした弁護士による情報リテラシー研修を行うこと、出席理事全員一致で承認された。なお、時期は大会等イベントがない12月とし弁護士と日程調整のうえ決定することとなった。

(8) 第8号議案：ジュニア・サブジュニアジャパクラシックパワー大会について

ジャパクラシックパワー（ジュニア・サブジュニアの部）を令和4年2月27日、兵庫県、パワーフラッシュアリーナで開催することが議場に諮られた。審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

(9) その他審議事項及び報告事項

(ア) 広報委員会人事について

広報委員長及び委員から辞任の意向がなされ、新たな人事について議場に諮られた。

辞任：奥谷元哉（委員長）、柳沢由紀子、塩谷晴久、中村敏雄、田島瞳

就任：田中彰子（委員長）、小笠剛志、古川潤

審議の結果、出席理事全員一致で広報委員会人事は承認された。

(イ) 不服審査委員会について

11月30日にご本人の聞き取りを実施予定していること報告がなされた。

(ウ) アンチドーピング委員会について

アンチドーピング委員副委員長（ドーピング検査部会）須藤ゆき氏より、コロナ影響による事情で退任の意向が示された。後任については定めず、委員長の鈴木氏が兼務することが議場に諮られた。審議の結果、須藤氏の退任は出席理事全員一致で承認された。

(エ) アンチドーピング違反の可能性があるSNS投稿の対処について

アンチドーピング違反の可能性がある選手のツイッター投稿が発見され、アンチドーピング委員長及びフェアプレイ委員長名で警告文を送付し、現在は削除されたこと報告がなされた。

(オ) 日本スポーツ振興センター実態調査について

令和3年10月12日（火）日本スポーツ振興センターの実態調査を受け、指摘事項なしで無事に終了したこと報告がなされた。

(カ) 50周年記念事業について

令和4年10月9日(土)～11日(月・祝)が連休であり、10日を第一希望としてオリンピックスクエアにて開催する方向で調整に入った。会場は3ヶ月前まで予約不可であるため万一予約が不可であれば他会場とし東京にて開催することが報告された。

(キ) アジアパワーリフティング選手権大会の国内開催について

本年はコロナ禍でインドネシアや香港で大会開催ができず、10月にアジア連盟会長より日本開催ができないか打診があった。リサーチしたところ、兵庫県姫路市であれば開催できる会場を見つけることができたが、日本国の水際対策をクリアする資金面都合で誘致が叶わなかった。コロナが落ち着いた段階で再度日本誘致を打診すること議場に諮られた。審議の結果、出席理事全員一致で誘致すること承認された。

(ク) 日本選手団の愛称について

日本選手団について愛称を募ることが議場に諮られた。審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

(ケ) デッドリフトのダウンについて

デッドリフトのダウンについてルール規定方法、その他が話し合われた。概要は以下の通り。

- ・体育館を守り、競技をより発展させるためにコントロールして下すことは必要。
- ・審判が明確に判断できないことが一要因であり、試合前のルールクリニックで認識の統一を図る。
- ・複数名の試合時動画を収集し、良い例・悪い例を年内目標に提示する。
- ・ルールブック記述としては、「手を添えての自然落下で、審判から見てコントロールする意思が明確に見られなければ失敗試技とする」とする。
- ・主催者側は体育館プラットフォームの養生にも努力すべきで、会場設営を工夫することも必要。安価で効果のあったプラットフォームの例示をするのはどうか。
- ・アップ場の方がノーコントロールである。ポスターやのぼり、アナウンスで注意喚起する。
- ・今後の審判講習会でもJPAの方向性を共有する。

審議の結果、上記の内容の準備を進めること關本理事を除く出席理事全員一致で承認された。

※關本理事は仕事都合で決議前に退席した。

(コ) ホームページ移行について

ホームページを琉球オフィスサービスに制作管理を外注し、10月末に切り替えを行なった。11月1週を修正期間に当てること報告がなされた。

(サ) 次回理事会について

12月4日(土) 14時から予定

以上をもって、電話会議システムを用いた本理事会は、終始異状なく全議案の審議を終了したので、議長は17時半に閉会を宣言した。

上記の議決を明確にするため、出席会長及び監事が次に署名又は記名押印する。

令和3年10月30日

公益社団法人日本パワーリフティング協会理事会

会 長
(代表理事)

古城 賢久



監 事

安原 徹

